

広域型生活支援コーディネーターの主な活動について（令和2年2月～9月）

1. 助け愛隊活動の実施

①活動ボランティアの年度更新を実施。

（令和2年度の変更点）

旧：近隣での活動が多く登録ボランティアより交通費は不要、との意見もあった。

新：令和2年度より交通費の一律支給を廃止し、毎回交通費の要・不要を確認する。

（令和2年度 登録ボランティア数）

・48人（令和元年度：59人）

②令和元年度 助け愛隊活動について（資料4-1、4-2を参照）

2. コロナ禍での活動

（中止となった取り組み）

①地域での高齢者生活支援に関する検討会の開催（3月～）

②アクティブシニア集まれ！元気・健康フォーラム（3月22日）

③地域元気アップ講座 ～アクティブシニアを目指そう～（4月21日、4月27日）

④助け愛隊ボランティア養成講座（5月22日）

⑤助け愛隊活動（4月～8月）

（新たな取り組み）

①外出自粛を受けて自宅でできる体操やストレッチ等のチラシ作成・公開を高齢福祉室に依頼。（3月）

②大阪大学（人間科学部）学生グループ「すいすい吹田」と五月が丘地区福祉委員会による高齢者見守り訪問活動をコーディネート。また吹田市社会福祉協議会かぎ預かり事業申込者（ひとり暮らし高齢者）に学生グループ「すいすい吹田」発行のよりそい隊通信、コロナ詐欺注意喚起チラシ等を送付。マスコミ各社（※）の取材対応・調整を実施。（3月～）

※NHK、MBS、関西テレビ、毎日新聞、読売新聞、時事通信、全社協、厚労省等で紹介・事例公開。

③地域での高齢者生活支援に関する取り組みについて、CSWと検討。（4月～）

④大阪府「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」を活用し、昨年度助け愛隊に相談のあった高齢者（143人）にコロナ詐欺注意喚起チラシ、社協CSWチラシ、自宅で出来る体操等のチラシ（高齢福祉室作成）を郵送。（4月）

⑤高齢者生活支援サポートリスト「集いの場 編」をICTツールで活用できるようデータを作成。（5月～）、社協CSW・地域包括支援センター職員への操作研修実施・公開。（7月～）

⑥高齢者が自宅で取り組める／孫と遊べる／集いの場充実のための体操、レクリエーション等の動画を吹田市社会福祉協議会・吹田市社会福祉協議会 施設連絡会（高齢者福祉施設）と連携して作成・公開。（7月～）